

⑧ 長野県富士見町大平地区

中山間



企業参入



基盤整備



集約化



町と企業が協力して遊休農地を解消し、野菜テーマパークをオープン

「取組のポイント」

- ✓ 基盤整備事業により遊休農地を解消して農地を大区画化
- ✓ 農地をまとまった形で地域の担い手と企業に配分

地区の概要

高齢化等により地区内の農地の3割が遊休化しており、持続的な農地の維持が困難となっており、地域の荒廃化や地域活力の喪失が危惧されていた。

取組の内容

- ① 農業の衰退や地域活力の低下を危惧する町と、町内に工場を有する大手食品メーカーが協力して、工場に隣接する遊休農地を野菜菜園として活用する構想づくりを開始した。
- ② 周辺農地と合わせて基盤整備事業により農地を大区画化し、農地バンクを通じて食品メーカーが出資した関連企業（農地所有適格法人）と地域の担い手6名に農地を集積・集約化した。
- ③ 食品メーカーの関連企業は、強い農業づくり交付金を活用して約1haのセミクローズド型フィルム温室を整備し、国内トップクラスの生産量を誇るトマトの高収益生産を行うとともに、隣接する食品メーカーの工場と合わせて野菜テーマパークとして整備され、地域の雇用創出等の大きな効果をもたらしている。

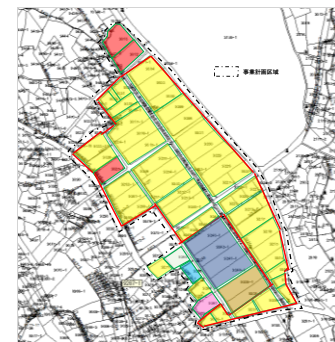


【開園した野菜テーマパーク】



取組の成果

- ✓ 遊休農地**3.9ha**を**解消**
- ✓ 集積率が**0.9%→100%**に大幅上昇
- ✓ 水田の汎用化により高収益作物野菜の生産面積が、**18%→71%**に拡大



担い手A(法人)
 担い手B(個人)
 担い手C(個人)
 担い手D(個人)
 担い手E(個人)
 担い手F(個人)
 担い手G(個人)

バンク活用前



バンク活用後



農地バンク 活用面積	借入面積	11.5ha
	転貸面積	11.5ha
	新規集積面積	11.4ha
地区内農地面積	11.5ha	
集積面積・集積率	0.1ha(0.9%)	11.5ha(100%)
平均経営面積	0.1ha/経営体	1.6ha/経営体
遊休農地面積	3.9ha	0ha